

はじめに

京都市長

門川 大作



いきいきとした暮らしの息づかい、学生の方々や子どもたちの活気、伝統を感じるどこか懐かしい風情、そして地域の皆様の温かさ……。京阪藤森駅界隈をゆっくり歩くと、このまちの魅力をより身近に感じます。多くの皆様にもっともっと、この地を歩いて楽しんでいただきたいと思います。

京都市では、公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現を目指した取組を積極的に進めています。その一環として、この度とりまとめました「京阪藤森地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」では、駅及び周辺道路等のバリアフリー化を重点的、一体的に推進していくための基本的事項を定めています。

高齢者や障害のある方をはじめ、すべての人に地域で安心して健やかに暮らしていただきたい、そしてこの京阪藤森地区を更に大好きになっていただきたい、そんな思いを込めて策定致しました。

今後は、この基本構想をもとに、公共交通事業者や関係行政機関と連携して、多くの皆様が永年待ち望んでおられました京阪藤森駅へのエレベーター設置をはじめとする駅の改善や駅周辺の主要施設を結ぶ経路のバリアフリー化などを着実に推進して参ります。

結びに、京阪藤森地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議において熱心に御議論、御検討をいただきました委員の皆様、並びに多くの貴重な御意見をお寄せくださいました市民の皆様に、心から御礼申し上げます。

平成20年9月